

東京から地方で学ぶ意義

— 北九州での学びを通して広がった視野 —

早稲田大学大学院情報生産システム研究科
情報生産システム工学専攻修士課程 1 年
富金原凜子

目次

1. 自己紹介
2. 理想の将来像
3. なぜ「東京×北九州」で学ぶのか
4. 北九州での生活
5. 将来の展望

1. 自己紹介

富金原 凜子（ふきんばら りこ）

出身高校：山口県立山口高等学校

進学コース：

IPSコース(3年東京＋3年北九州)

大学：早稲田大学基幹理工学部

機械科学・航空宇宙学科

大学院：早稲田大学大学院

情報生産システム研究科

情報生産システム工学専攻

研究室：バイオ・ロボティクス&

ヒューマン・メカトロニクス

（指導教員：松丸隆文）



2. 理想の将来像

世界の生活水準を上げる技術者

標準的な生活水準は、
場所によって異なる

海外旅行 | ニュース
山口→東京での生活



交通



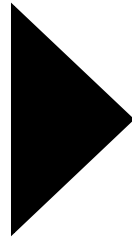
情報



流通



衛生



世界中の人が使う
製品を作る

各地のニーズに応えられる
技術者へ



技術力



多様な社会への理解

3. なぜ「東京×北九州」で学ぶのか



東京・西早稲田

- 高い志を持つ学生との学び
- 多様なコミュニティへの参加
- 自分の興味関心探求
- 留学生など外国人との交流



自分の専門を探す



北九州・IPS

- 留学生が約 9 割の中での研究活動
- 幅広い研究領域
- 地方での生活
- 地元山口県から近い



環境を変えて学ぶ

自分の専門性と視野を拡張するため

4. 北九州での生活

研究生活

- 様々な国籍の学生
- 国際的な共同研究
- 日本⇔海外 研究訪問
- 特許申請
- 修士1年からの国際学会口頭発表



北九州に居ながら、世界とつながり、
挑戦できる環境がある



更なる認知度の向上と資源・資金の拡充で、
世界をリードする研究拠点へ

5. 将来の展望



東京で学ぶ

- ・専門性を深める
- ・多様な経験



北九州で学ぶ

- ・留学生に囲まれた研究活動
- ・地方での生活



地域・企業を知る

- ・産業・研究に触れる
- ・働いている人に出会う



就職の選択肢拡大

- ・地方で働くイメージ

現在の志望



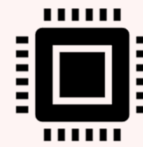
機械・ロボット・自動車

×

研究開発職



関心を持つ産業



半導体



産業用
ロボット



家電・
住宅設備

学ぶ場所の変化によって、将来の選択肢が広がる